

第2回 市教研養護教諭部ブロック別研修会

期日：令和6年8月1日（木）

場所：ブロック別各会場

第2回養護教諭部ブロック別研修会は、各ブロックに分かれて演習を交えた講話を聞いたり、保健室訪問をしたりしました。

1日開催の夏休みは、時間もたっぷりとることができ、資質向上に向けた充実した研修会を行うことができました。



【研修会の様子】

1ブロック



○講話「保健室経営の充実について」

講師：磐田市立磐田第一中学校 田邊 恵子 養護教諭

○講話「支援が必要な児童生徒や保護者対応について」

講師：浜松市立中部小学校 教頭 袴田 暁広

○職務の標準化に向けての研修



保健室経営の講話では、KPTフレームを活用し、これまでの実践を振り返ることで「成果・継続すること (keep)」「解決すべき課題 (problem)」「次に取り組むこと (try)」が明確になりました。支援が必要な児童生徒・保護者対応についての講話では、事情を抱える相手を「わかる」ために自分や学校ができる工夫とは何か、視野を広げ相手を理解しようとする姿勢と関係作りの重要性について考える場となりました。

2ブロック



○講話「保健学習について～すぐに使える実践例～」

講師：静岡大学教育学部附属浜松中学校 松本 和也 教諭

○ICT活用の活用について（日常職務の情報交換を含む）

○職務の標準化に向けての研修

保健学習の講話では、養護教諭が教科指導に関わる際のポイントやティームティーチングの効果的な参画の仕方、保健教育の現状と課題について教えていただきました。また、避難所運営ゲームの体験を通して、ヘルスリテラシーの育成を考慮した授業づくりについて学ぶことで、養護教諭が保健教育に参画する意欲を高め合うことができました。

ICTの活用については、職務の効率化や情報の共有など、様々な場面で活用できることが分かりました。



3ブロック



- 保健室訪問（校種別研修）
- 講話：「公立小学校における医療的ケアの実態」
講師：教育支援課看護師 生熊 佐織 氏
- 伝達講話：「西部特別支援学校における医療的ケアの実態」
伝達者：浜松市立江南中学校 橋本 協子 養護教諭
（資料提供者：静岡県立西部特別支援学校 小田 遥 養護教諭）
- 日常職務の情報交換（中学校区別研修）
- 職務の標準化に向けての研修



保健室訪問では、動線を考えた配置や物品処分の可否判断等を検討し、保健室の整備に話し合うことができ、自校の実践にすぐに生かせる情報を多く共有することができました。

医療的ケアの研修では、校内で連携しながら、医療的ケアを必要とする児童生徒の自立した学校生活や学習が支援されていることを学びました。



4ブロック



- 講話「発達支援教育と養護教諭の関わり」
講師：浜松市立積志小学校 LD等通級指導教室 藤田 和見 教諭
- 保健室備品・消耗品の検討：保健室備品取扱業者
- 日常職務の情報交換
- 職務の標準化に向けての研修



発達支援教育の講話では、「承認」の仕方を意識しながら子供たちと関わり、養護教諭としていち早く子供たちの困り感に気づき、適切な支援に結びつけていくことが大切であると学びました。

また、保健室備品取扱業者の方から、保健室で活用しやすい衛生材料や物品を紹介していただきました。実際に手に取り、説明を聞くことができ、けがの手当てや職務の効率化につながる物品を知ることができました。



5ブロック



- 講話「アート書道とは～いつもの掲示にワンポイント～」
講師：書道研究家 洪鷺会 白柳 秀祐 氏
- 保健室訪問（北浜東部中）
- 保健室備品・消耗品の検討：保健室備品取扱業者
- 日常職務の情報交換
- 職務の標準化に向けての研修



アート書道体験では、保健室の掲示で使える文字を実際に書いてみたり、アドバイスをいただいたりして、掲示物作成の意欲を高めることができました。

保健室訪問では、整理収納アドバイザーから助言を受けて、使いやすくなった保健室を見学しました。レイアウトや整理収納方法等、子供たちや先生方にも使いやすい工夫が多く見られました。



6ブロック



- 講話「養護教諭の職務がスムーズになるICT研修」
講師：浜松市立雄踏小学校 中村 貴之 教諭
- 教職員健康診断について（校種別研修）
- 職務の標準化に向けての研修



ICT研修では、養護教諭が効果的にICTを活用するための具体的・実践的な研修になりました。さくら連絡網を使って宿泊行事の事前調査を作成する方法について教えていただき、各校で活用できる実用的なひな形を作成することができました。

教職員健康診断については、毎年多くの変更点があり不安や疑問を感じている養護教諭が多くいたため、養護教諭が行う仕事について情報共有をしながら整理し、チェックリストを作成しました。

7ブロック



- 保健室登校、別室登校等の対応（校種別研修）
- 講話「自分を大切に ～思春期教室から～」
講師：浜松市助産師会 助産師 小杉 美佳 氏
- 日常職務の情報交換（中学校区別研修）
- 職務の標準化に向けての研修



保健室登校・別室登校等の対応については、子供の気持ちレベルを数値化することや、1日のスケジュールの立て方、保健室利用のルール作りなど、各校に生かせる活用方法を学ぶことができました。

助産師の講話では、実際に中学3年生女子生徒に行われている思春期教室を体験しました。発達段階に応じた開催の形態や内容の工夫について知ることができ、生徒が自分事に置き換えられるような内容で大変参考になりました。

8ブロック



- 講話「中山間地域小規模校の危機管理と養護教諭の役割」
講師：浜松市立北浜東小学校 田中 公子 教諭
- 保健室訪問（清竜中）
- 日常職務の情報交換（規模別グループ）
- 職務の標準化に向けての研修



講話では、田中教諭の養護教諭・教育委員会指導主事・教頭・校長と様々な立場での貴重な経験談を聞くことで、養護教諭の仕事の大切さや求められる役割を再認識することができました。

また、事例検討では4つの救急処置事例についてグループで検討し、指導・助言をいただきました。各自の日頃の対応を確認することで、対応への不安を軽減することができたり、新たな視点を得たりすることができました。